

Enterprise Vault™ SharePoint Server アーカイ ブの設定

12.3

Enterprise Vault™: SharePoint Server アーカイブの設定

最終更新日: 2018-02-08。

法的通知と登録商標

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、Enterprise Vault、Compliance Accelerator、Discovery Accelerator は、Veritas Technologies LLC または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、Veritas 社がサードパーティへの帰属を示す必要があるサードパーティソフトウェア (「サードパーティプログラム」) が含まれる場合があります。一部のサードパーティプログラムはオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスの下で利用できます。ソフトウェアに付属している使用許諾契約は、それらのオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスで規定されている権利または義務を変更するものではありません。この Veritas 製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバース・エンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

文書は「現状有姿のまま」提供され、市販性、特定目的との適合性または権利を侵害していないことを含むすべての明示または黙示の条件、表明および保証は、そのような免責が法的に無効であるとされた場合を除き、免責されます。VERITAS TECHNOLOGIES LLC は本書の供給、実行、または使用に関連した付随的、間接的な損害に対する責任を負わないものとします。本書に含まれる情報は、事前の通知なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR セクション 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により、ベリタスがオンプレミスとして提供したか、ホストサービスとして提供したかにかかわらず、制限された権利の対象となります。米国政府による本ソフトウェアの使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC
500 E Middlefield Road
Mountain View, CA 94043

<https://www.veritas.com>

テクニカルサポート

テクニカルサポートは、世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、サポート契約と、その時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供されます。

サポートサービスとテクニカルサポートに連絡する方法について詳しくは、次の当社の **Web** サイトを参照してください。

https://www.veritas.com/support/ja_JP.html

次の URL で **Veritas Account** の情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

既存のサポート契約に関して当社に問い合わせる場合は、次に示すご利用の地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

全世界 (日本以外)

CustomerCare@veritas.com

日本

CustomerCare_Japan@veritas.com

テクニカルサポートに連絡する前に、**Veritas Quick Assist (VQA)** ツールを実行して製品のマニュアルに記載されているシステムの必要条件を満たしていることを確認してください。VQA は **Veritas** サポート **Web** サイトの次の記事からダウンロードできます。

https://www.veritas.com/support/en_US/vqa

マニュアル

最新版のマニュアルを確認してください。各マニュアルの 2 ページ目に最終更新日が表示されています。最新のマニュアルは **Veritas** の **Web** サイトで入手できます。

https://www.veritas.com/support/ja_JP/article.100040095

マニュアルのフィードバック

お客様のフィードバックは当社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの間違い、脱字などのご報告をお願いします。その際、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。フィードバックは次のアドレスに送信してください。

evdocs@veritas.com

次の **Veritas** コミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

<https://www.veritas.com/community>

目次

第 1 章	本書について	6
	このマニュアルについて	6
	Enterprise Vault についての詳しい情報の入手先	6
	Enterprise Vault トレーニングモジュール	9
第 2 章	SharePoint アーカイブの設定	10
	Enterprise Vault での SharePoint アーカイブについて	10
	SharePoint 用の Enterprise Vault の設定の概要	12
	SharePoint サーバーへの Enterprise Vault のアクセスの設定	13
	SharePoint サーバーへの Enterprise Vault コンポーネントのインストール	14
	SharePoint 設定ウィザードのための Enterprise Vault の実行	15
	SharePoint アーカイブのための管理コンソールでのオブジェクトの作成	16
	SharePoint アーカイブタスクの作成	16
	SharePoint アーカイブタスクのプロパティ	17
	SharePoint 用の Enterprise Vault のアーカイブポリシーの作成	18
	SharePoint アーカイブのボルトストアについて	21
	SharePoint アーカイブ対象の追加	21
	SharePoint サイトコレクションのアーカイブ対象の作成	24
	アーカイブ設定を上書きするアーカイブ対象サブサイトの作成	25
第 3 章	SharePoint のアーカイブの実行	27
	SharePoint アーカイブ実行の開始	27
	SharePoint アーカイブの実行のスケジュール	28
第 4 章	SharePoint アーカイブ Web パーツの追加	30
	SharePoint アーカイブ Web パーツについて	30
	SharePoint ページにアーカイブの検索 Web パーツを追加する	31

第 5 章	アーカイブされた SharePoint 文書へのユーザーアクセス	32
	アーカイブされた SharePoint コンテンツへのユーザーアクセスについて	32
	SharePoint バージョン履歴ページのアーカイブ済みバージョンへのアクセス	33
	アーカイブの検索 Web パーツを使ったアーカイブ済みアイテムの検索	33
	SharePoint ユーザーのブラウザセキュリティ設定の修正	37
付録 A	単一サーバーへの Enterprise Vault と SharePoint のインストール	39
	同じサーバーへの Enterprise Vault と SharePoint のインストール	39

本書について

この章では以下の項目について説明しています。

- [このマニュアルについて](#)
- [Enterprise Vault についての詳しい情報の入手先](#)

このマニュアルについて

このマニュアルは、Microsoft SharePoint サーバーのコンテンツをアーカイブできるように Enterprise Vault を設定する方法について説明します。

このガイドを通して、「コンテンツ」とは SharePoint にアーカイブされたすべてのデータを表す用語になります。「アイテム」とは、任意のファイルまたは SharePoint のコンテンツを構成する他のエンティティのことです。たとえば、アイテムとしては文書、ブログの投稿またはコメント、カスタムリストアイテムなどがあります。「文書」または「ファイル」は特にドキュメントライブラリにアーカイブされるアイテムのことになります。たとえば、Word 文書、スプレッドシートなどがこれに該当します。

Enterprise Vault についての詳しい情報の入手先

[表 1-1](#) に、Enterprise Vault に付属のマニュアルの一覧を示します。このマニュアルは、Veritas [ドキュメントライブラリ](#) から PDF および HTML 形式でも入手可能です。

表 1-1 Enterprise Vault マニュアルセット

マニュアル	コメント
Veritas Enterprise Vault ドキュメントライブラリ	<p>横断検索の可能な Windows のヘルプ (.chm) 形式の次のドキュメントがすべて含まれています。Acrobat (.pdf) 形式のマニュアルへのリンクも含まれています。</p> <p>このライブラリには、次を含む複数の操作でアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Windows エクスプローラで Enterprise Vault インストール先フォルダのサブフォルダ Documentation¥language¥Administration Guides を参照し、EV_Help.chm ファイルを開きます。 ■ 管理コンソールの [ヘルプ] メニューで [Enterprise Vault のヘルプ] をクリックします。
導入および計画	Enterprise Vault の機能の概要を説明します。
Deployment Scanner	Enterprise Vault をインストールする前に必要なソフトウェアと設定を確認する方法を説明します。
インストールおよび設定	Enterprise Vault の設定に関する詳細な情報を提供します。
アップグレードの手順	既存の Enterprise Vault インストールを最新バージョンにアップグレードする方法を説明します。
Domino サーバーアーカイブの設定	Domino メールファイルとジャーナルデータベースからアイテムをアーカイブする方法を説明します。
Exchange Server アーカイブの設定	Microsoft Exchange ユーザーメールボックス、ジャーナルメールボックス、パブリックフォルダからアイテムをアーカイブする方法を説明します。
ファイルシステムアーカイブ (FSA) の設定	ネットワークファイルサーバーに保存されているファイルをアーカイブする方法を説明します。
IMAP の設定	Exchange アーカイブとインターネットメールアーカイブへの IMAP クライアントアクセスを設定する方法を説明します。
SharePoint Server アーカイブの設定	Microsoft SharePoint サーバーの文書をアーカイブする方法を説明します。
Skype for Business のアーカイブの設定	Skype For Business のセッションをアーカイブ化する方法を説明します。
SMTP アーカイブの設定	他のメッセージングサーバーから SMTP メッセージをアーカイブする方法を説明します。

マニュアル	コメント
Microsoft ファイル分類インフラストラクチャを使用した分類	Windows Server の新しいエディションに組み込まれた分類エンジンを使用して、新規と既存のすべてのアーカイブ済みコンテンツを分類する方法について説明します。
Veritas Information Classifier を使用した分類	Veritas Information Classifier を使用して、業界標準の分類ポリシーの包括的なセットを基準に新規とアーカイブ済みのすべてのコンテンツを評価する方法について説明します。Enterprise Vault を使用した分類を初めて行う場合は、以前の直観的でないファイル分類インフラストラクチャエンジンではなく、Veritas Information Classifier の使用をお勧めします。
管理者ガイド	日常的な管理を実行する方法を説明します。
PowerShell コマンドレット	Enterprise Vault PowerShell コマンドレットを実行して、さまざまな管理タスクを実行する方法を説明します。
監査	Enterprise Vault サーバー上でイベントの監査情報を収集する方法を説明します。
バックアップと回復	システムエラーが起きた場合にデータ損失を防止する効果的なバックアップ戦略の実装方法や、回復手段を利用する方法を説明します。
レポート	Enterprise Vault サーバー、アーカイブ、アーカイブ済みアイテムの状態に関するレポートを提供する、Enterprise Vault Reporting の実装方法を説明します。FSA レポートを設定すると、ファイルサーバーとそのボリューム用の追加レポートを利用できます。
NSF 移行	Domino ファイルと Notes NSF ファイルから内容を Enterprise Vault アーカイブにインポートする方法を説明します。
PST 移行	Outlook PST ファイルから内容を Enterprise Vault アーカイブに移行する方法を説明します。
ユーティリティ	Enterprise Vault のツールとユーティリティについて説明します。
レジストリ値	レジストリ値を一覧表示している参照用の文書で、さまざまな側面から Enterprise Vault の動作を修正する場合に使うことができます。
管理コンソールのヘルプ	Enterprise Vault 管理コンソールのヘルプ。
Enterprise Vault Operations Manager のヘルプ	Enterprise Vault Operations Manager のヘルプ。

サポートされているデバイスとソフトウェアのバージョンの最新情報について詳しくは、『Enterprise Vault [Compatibility Charts](#)』を参照してください。

Enterprise Vault トレーニングモジュール

Veritas 教育サービスでは、基本的な管理から詳細トピック、トラブルシューティングまで、Enterprise Vault の包括的なトレーニングを提供します。教室でのトレーニングや仮想トレーニングなど、さまざまな形式でトレーニングできます。

Enterprise Vault トレーニング、カリキュラムのパス、認定オプションについて詳しくは、<https://www.veritas.com/services/education-services> を参照してください。

SharePoint アーカイブの設定

この章では以下の項目について説明しています。

- [Enterprise Vault での SharePoint アーカイブについて](#)
- [SharePoint 用の Enterprise Vault の設定の概要](#)
- [SharePoint サーバーへの Enterprise Vault のアクセスの設定](#)
- [SharePoint サーバーへの Enterprise Vault コンポーネントのインストール](#)
- [SharePoint 設定ウィザードのための Enterprise Vault の実行](#)
- [SharePoint アーカイブのための管理コンソールでのオブジェクトの作成](#)

Enterprise Vault での SharePoint アーカイブについて

Enterprise Vault を使って、次のいずれかが動作しているサーバーからコンテンツをアーカイブできます。

- Microsoft SharePoint Server 2010
- Microsoft SharePoint Foundation 2010
- Microsoft SharePoint Server 2013
- Microsoft SharePoint Foundation 2013
- Microsoft SharePoint Server 2016

スケジュールされた日時になると、Enterprise Vault は自動的に SharePoint サーバーからコンテンツをコピーし、Enterprise Vault SharePoint アーカイブに格納します。アー

カイクされたコンテンツは、必要に応じて、SharePoint Server に残すことも、削除することもできます。また、ある特定のコンテンツ用に SharePoint Server にショートカットを作成することもできます。SharePoint ポリシーを使って、元のコンテンツの削除とショートカットの作成を行います。

Enterprise Vault は次の種類の SharePoint コンテンツをアーカイブしてショートカットを作成します。

- | | |
|---------------|-------------|
| ■ お知らせ | ■ フォームライブラリ |
| ■ 資産ライブラリ | ■ 問題点の追跡 |
| ■ ブログ | ■ リンク |
| ■ 連絡先 | ■ 画像ライブラリ |
| ■ カスタムリスト | ■ スライドライブラリ |
| ■ 掲示板 | ■ タスク |
| ■ ドキュメントライブラリ | ■ Wiki |

アイテムをアーカイブして、その場所にショートカットを作成すれば、通常の場合はスペースを節約できます。ただし、SharePoint 2013 以降では、ストレージが断片化しているときにこの領域の節約効果が低減する場合があります。

ドキュメントライブラリに対してバージョン管理が有効になっている場合は、アーカイブした後に SharePoint サーバーに残す必要がある文書のバージョン数を設定できます。アーカイブバージョン履歴リンクを使うと、アーカイブ済みバージョンのアイテムを表示してアイテムを復元できます(該当する場合)。

Enterprise Vault は次からアーカイブする場合、ショートカットを作成しません。

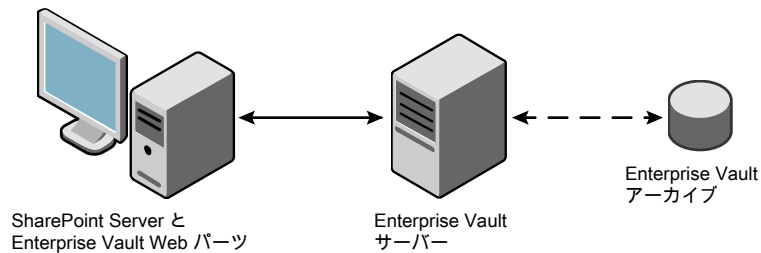
- 文書発行が有効になっているドキュメントライブラリ。つまり、ドキュメントライブラリがマイナーバージョン用に設定されている場合。
- コンテンツの承認が有効に設定されたドキュメントライブラリまたは一覧。
- SharePoint レコードセンターサイト。
- レコードとしてマーク付けされたアイテム。
- SharePoint 発行サイトまたは Wiki。
- バージョン管理が有効になっているリスト。
- 調整が有効になっているリスト。
- アイテムが変更されたときに開始するワークフローのあるリストアイテム。
- 読み取り専用の閉じたサイトのコレクション。

アーカイブされたドキュメントライブラリのアイテムを SharePoint に復元することはできませんが、アーカイブされたソーシャルコンテンツおよび読み取り専用の閉じたサイトのコレクションは復元できません。

1 つの Enterprise Vault SharePoint アーカイブタスクで、複数の SharePoint サーバーからコンテンツをアーカイブできます。SharePoint アーカイブタスクを使用して、クライアント証明書認証を受け付けるように設定されている SharePoint サーバーからコンテンツをアーカイブできます。

図 2-1 は、SharePoint Server からコンテンツをアーカイブしている Enterprise Vault サーバーを示します。

図 2-1 SharePoint アーカイブの設定例



Enterprise Vault サーバーでは、対象の SharePoint サイト、アーカイブタスク、アーカイブポリシーを Enterprise Vault 管理コンソールで設定します。

EVSPShortcutManager ユーティリティを使って、SharePoint Server、サイトコレクション、またはライブラリ内のすべての HTML ショートカットを、アーカイブ済みアイテムを復元できる新しいショートカットに置換できます。詳しくは『ユーティリティガイド』を参照してください。

SharePoint 用の Enterprise Vault の設定の概要

表 2-1 では、SharePoint 用に Enterprise Vault を設定する場合に実行する必要があるタスクの概要を示します。

表 2-1 SharePoint アーカイブを設定する作業

手順	作業	詳しい説明の参照先
手順 1	Enterprise Vault サーバーが SharePoint サーバーにアクセスできることを確認してください。	p.13 の「 SharePoint サーバーへの Enterprise Vault のアクセスの設定 」を参照してください。
手順 2	Enterprise Vault SharePoint コンポーネントをインストールします。	p.14 の「 SharePoint サーバーへの Enterprise Vault コンポーネントのインストール 」を参照してください。

手順	作業	詳しい説明の参照先
手順 3	設定ウィザードを実行します。	p.15 の「 SharePoint 設定ウィザードのための Enterprise Vault の実行 」を参照してください。
手順 4	管理コンソールで SharePoint アーカイブを設定します。	p.16 の「 SharePoint アーカイブのための管理コンソールでのオブジェクトの作成 」を参照してください。

SharePoint サーバーへの Enterprise Vault のアクセスの設定

Enterprise Vault が SharePoint Server にアクセスできるようにするには、Enterprise Vault タスクとサービスを実行しているすべてのコンピュータ、スタンドアロンの Enterprise Vault 管理コンソールを実行しているすべてのコンピュータで、次の Internet Explorer のセキュリティ設定を適用する必要があります。

SharePoint にアクセスするために使うボルトサービスアカウントは、対象の SharePoint サイトサーバーそれぞれに対してローカルの管理者権限を持っている必要があります。

アーカイブするタスクが SharePoint にアクセスするために使うアカウントは通常、ボルトサービスアカウントです。ボルトサービスアカウントには、対象の SharePoint サイトコレクションへのサイトコレクション管理者権限が必要です。

SharePoint サーバーへの Enterprise Vault のアクセスを設定する方法

- 1 ボルトサービスアカウントを使って Enterprise Vault サーバーコンピュータにログオンします。
- 2 Internet Explorerを開き、[ツール]、[インターネットオプション]の順に選択します。
- 3 [インターネットオプション]ウィンドウの[セキュリティ]タブをクリックします。
- 4 [イントラネット]を選択し、[サイト]をクリックします。
- 5 [イントラネット]ダイアログボックスの[詳細設定]をクリックします。
- 6 アーカイブする各 SharePoint Web アプリケーションの URL を追加します。
`http://sharepoint_server_name`
- 7 [OK]を 2 回クリックして、[インターネットオプション]ウィンドウに戻ります。
- 8 [レベルのカスタマイズ]をクリックします。
- 9 下にスクロールして[ユーザー認証]セクションを表示し、[イントラネットゾーンでのみ自動的にログオンする]を選択します。

- 10 [OK]をクリックします。
- 11 [OK]をクリックして、[インターネットオプション]ウィンドウを閉じます。

SharePoint サーバーへの Enterprise Vault コンポーネントのインストール

Enterprise Vault のセットアッププログラムによって次の機能がインストールされます。

- Web サービス拡張。
これらの拡張は、リモートのアーカイブタスクのサポートに使われます。
- Enterprise Vault Archive Search アプリケーション。
このアプリケーションを使って、ユーザーはアーカイブのバージョン履歴を検索、復元、表示できます。
- Enterprise Vault Admin Service。
このサービスではアーカイブ検索 Web アプリケーションがサポートされます。
- SharePoint Web パーツ。

サーバーファームにインストールする場合、すべてのフロントエンド Web サーバーに Enterprise Vault コンポーネントをインストールする必要があります。

SharePoint サーバーに Enterprise Vault コンポーネントをインストールするには

- 1 SharePoint サーバーファームアカウント (SharePoint データベースアクセスアカウントとも呼ばれます) または SharePoint_Config データベースへの十分な権限がある別のアカウントとして SharePoint Server にログオンします。

アカウントには SharePoint_Config データベースの SharePoint_Shell_Access SQL Server セキュリティロールが設定されている必要があります。

サイトコレクション管理者として SharePoint サーバーにログオンすることを確認します。
- 2 SharePoint Server コンピュータに Enterprise Vault メディアをロードします。
- 3 Windows の自動再生がサーバーで有効になっている場合、Windows によって自動再生のダイアログボックスが表示されます。[Setup.exe の実行]をクリックします。

自動再生が有効になっていない場合、Windows エクスプローラでインストールメディアのルートフォルダを開き、Setup.exe ファイルをダブルクリックします。

インストールランチャーが開きます。
- 4 インストールランチャーの右ペインで、Enterprise Vault の下にある[View ReadMeFirst]をクリックします。インストールを続行する前に、ReadMeFirst の内容を確認します。
- 5 インストールのランチャーの左ペインのリストで、[Enterprise Vault]をクリックします。

- 6 [Server Installation]をクリックします。
- 7 右ペインで、[Installation on first server in new site]をクリックします。
- 8 [Install]をクリックします。Enterprise Vault インストールウィザードが開始します。
- 9 [Select Components to Install]画面まで、インストールウィザードに従って操作します。
- 10 [Microsoft SharePoint Components]を選択します。
このコンピュータに Enterprise Vault SharePoint コンポーネントのみをインストールする場合は、他のオプションのチェックマークをはずします。
- 11 [Next]をクリックします。
- 12 ウィザードの残りの手順に従います。

SharePoint 設定ウィザードのための Enterprise Vault の実行

Enterprise Vault SharePoint コンポーネントをインストールしたら、設定ウィザードを実行する必要があります。

サーバーファームにインストールする場合、すべてのフロントエンド Web サーバーで Enterprise Vault コンポーネントを設定する必要があります。SharePoint Central Administration サーバーで設定ウィザードを実行する必要はありません。

SharePoint 設定ウィザードでは、ボルトサービスアカウントの詳細情報を入力し、このアカウントを使ってログオンするように Enterprise Vault 管理サービスを設定します。

SharePoint 用の Enterprise Vault 設定ウィザードの実行方法

- 1 ボルトサービスアカウントとして SharePoint Server コンピュータにログインします。
- 2 SharePoint 用の Enterprise Vault 設定ウィザードを起動します。
- 3 [次へ]をクリックして続行します。
- 4 Enterprise Vault サービスが使うアカウントの詳細情報を求めるメッセージが表示されたら、ボルトサービスアカウントの詳細情報を入力します。
アカウントを指定するときは、**domain_name¥username** の形式を使う必要があります。または、[参照]をクリックしてアカウントを参照します。
アカウントのパスワードを入力して確定します。
- 5 [Next]をクリックします。
- 6 設定ウィザードの最後の画面で、[完了]をクリックしてプログラムを終了します。

メモ: 新しい Web アプリケーションを追加する場合は、Enterprise Vault SharePoint コンポーネントを再インストールする必要があります。

p.14 の「[SharePoint サーバーへの Enterprise Vault コンポーネントのインストール](#)」を参照してください。

SharePoint アーカイブのための管理コンソールでのオブジェクトの作成

Enterprise Vault サーバーで、Enterprise Vault 管理コンソールを開き、次のオブジェクトを作成して SharePoint アーカイブを設定します。

表 2-2 管理コンソールでの SharePoint アーカイブの設定

手順	作業	詳しい説明の参照先
手順 1	SharePoint アーカイブタスクを作成します。	p.16 の「 SharePoint アーカイブタスクの作成 」を参照してください。
手順 2	1 つ以上の SharePoint アーカイブポリシーを作成します。	p.18 の「 SharePoint 用の Enterprise Vault のアーカイブポリシーの作成 」を参照してください。
手順 3	必要の場合は、SharePoint アーカイブに使う新しいボルトストアを作成します。	p.21 の「 SharePoint アーカイブのボルトストアについて 」を参照してください。
手順 4	Enterprise Vault に SharePoint アーカイブ対象を追加します。	p.21 の「 SharePoint アーカイブ対象の追加 」を参照してください。
手順 5	SharePoint サイトコレクションのアーカイブ対象を作成します。	p.24 の「 SharePoint サイトコレクションのアーカイブ対象の作成 」を参照してください。
手順 6	アーカイブ設定を上書きするアーカイブ対象サブサイトを作成します。	p.25 の「 アーカイブ設定を上書きするアーカイブ対象サブサイトの作成 」を参照してください。

SharePoint アーカイブタスクの作成

1 つ以上の SharePoint アーカイブタスクを作成できます。1 つのタスクで複数の SharePoint Web アプリケーションをサポートできます。

アーカイブタスクにより SharePoint にアクセスするために使われるアカウントには、対象の SharePoint サイトコレクションそれぞれにおけるサイトコレクション管理者権限が必要です。

SharePoint アーカイブタスクを作成するには

- 1 Enterprise Vault 管理コンソールのエクスプローラペインで、新しい SharePoint タスクをホストする Enterprise Vault コンピュータにナビゲートします。コンピュータ名をクリックして、[サービス]と[タスク]を表示します。
- 2 [タスク]を右クリックし、[新規作成]、[SharePoint タスク]の順に選択します。これにより、新規 SharePoint タスクウィザードが起動します。
- 3 ページに従って操作します。

SharePoint アーカイブタスクのプロパティ

タスクを実行するログオンアカウントなど、このタスクのプロパティ設定をカスタマイズするには、右側のペインで **SharePoint** タスクを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

表 2-3 SharePoint タスクのプロパティ

タブ	プロパティ	説明
全般	サイト	このタスクが属する Enterprise Vault サイト。
	コンピュータ	このタスクが作成されたコンピュータ。
	タスク名	タスクの名前。
	レポートモードで実行	レポートモードで実行する場合に選択します。このモードを選択すると、アーカイブ基準に一致するアイテムが一覧表示されます。ただし、実際のアーカイブ処理は行われません。
	スタートアップの種類	このタスクのスタートアップの種類。
	管理用のメモ	このタスクについて追加できるメモ。このメモは、このタスクにアクセスできるその他の Enterprise Vault 管理者にも表示されます。
スケジュール	サイトの設定を使用	選択した場合、このタスクは Enterprise Vault サイト用に設定されたスケジュールを使います。サイトのスケジュールを表示するには、サイトプロパティを開きます。
	実行	[実行しない]を選択すると、タスクの実行スケジュールが停止されます。[選択した時刻に実行]を選択すると、このページで選択した日時にタスクの実行が開始されます。
	間隔	以下のスケジュールグリッドで使う単位を変更できます。
	スケジュールグリッド	必要に応じて、グリッドの時間を選択または消去できます。グリッドの使い方について詳しくはヘルプを参照してください。

タブ	プロパティ	説明
ログオン	このタスクを実行するアカウントを選択してください。	SharePoint アーカイブタスクは常にボルトサービスアカウントとして実行されます。別の SharePoint アーカイブタスク用アカウントを指定して SharePoint との通信時に使うことができます。指定するアカウントは、対象の SharePoint サイトコレクションのそれぞれに対してサイトコレクション管理者権限を持っている必要があります。
レポート	アーカイブ実行時のレポートファイルを生成	[レポート]タブでは、レポートの作成方法を設定できます。アーカイブタスクが実行されるたびにレポートを作成する場合は、これにチェックマークを付けます。レポートは Reports フォルダ (たとえば、C:\¥Program Files (x86)\¥Enterprise Vault¥Reports¥SharePoint Archiving) に作成されます。
	アーカイブのログレベルとレポートの実行	このタスクについてレポートに表示する詳細情報の量を選択します。
	保持するレポートの数	このタスクの、 Reports フォルダに保持するレポート数も選択できます。
対象	対象	<p>このタブには、SharePoint Server 上のアーカイブするサイトの一覧が表示されます。対象は、アーカイブ対象オブジェクトを作成するときにタスクに割り当てられます。</p> <p>p.24 の「SharePoint サイトコレクションのアーカイブ対象の作成」を参照してください。</p> <p>1 つの SharePoint タスクが、複数の対象をサポートできます。代わりに、複数の SharePoint アーカイブタスクを作成し、必要に応じて各タスクに対象を割り当てることもできます。</p>

SharePoint 用の Enterprise Vault のアーカイブポリシーの作成

このセクションでは、SharePoint アーカイブポリシーを作成する方法について説明します。ポリシーによって、アーカイブするアイテムの種類や、SharePoint Server でバージョン管理が有効になっている場合は、アーカイブした後に SharePoint に残すバージョン数が定義されます。

SharePoint 用の Enterprise Vault のアーカイブポリシーを作成する方法

- 1 Enterprise Vault 管理コンソールのツリーで Enterprise Vault サイトを展開し、[ポリシー]をクリックします。
- 2 [ポリシー]の下に[SharePoint]をクリックします。

- 3 新しいポリシーを作成するには、右側のペインを右クリックし、[新規作成]、[ポリシー]の順に選択します (または、ツリーの[ポリシー]の下にある[SharePoint]を右クリックします)。新規 **SharePoint** ポリシーウィザードが起動します。
[次へ]をクリックします。
- 4 ポリシーに名前と説明を指定します。
- 5 次のページでは、1 つ以上のルールを作成して、このポリシーで処理するアイテムを選択できます。[新規]をクリックして、[ルール]ページを表示します。
- 6 このルールの[名前]と[説明]を入力します。
- 7 [ルールの種類]セクションで、ルールに一致したファイルに対して行う操作を選択します。選択できる操作は、[アーカイブ]、[アーカイブ禁止]、[削除]のいずれかです。
[アーカイブ]を選択した場合は、[コンテンツに埋め込まれた画像をキャプチャ]オプションを利用できます。コンテンツ内のイメージをアーカイブするには、このチェックボックスを使用できます。
- 8 内容の作成元と種類に従ってファイルをアーカイブするには、[内容]タブに詳細を入力します。このオプションについて詳しくは[ヘルプ]をクリックしてください。
[メタデータ]タブでは、**SharePoint** の一覧またはライブラリの列の値に応じて **Enterprise Vault** がアイテムをアーカイブするように条件を定義できます。
- 9 ファイルの種類にルールを適用する基準を指定するには、[ファイル]タブをクリックして選択基準を指定します。
[ファイル名]について、最初のフィールドでは、2 番目のフィールドで指定されたファイルを含めるか、または除外するかを選択できます。
2 番目のフィールドに、対象にするファイルを入力します。ファイル名にはワイルドカードを使えます。たとえば、* はすべてのファイルを意味し、*.doc は拡張子が .doc であるすべてのファイルを意味します。
複数のファイルの種類はカンマ (,) 区切りで入力します。
同様に、ルールのファイルサイズを指定します。
- 10 [保持カテゴリ]タブのルールのために選択した内容の保持カテゴリを指定します。
[保持カテゴリ]リストの対象に割り当てられたもの以外の保持カテゴリを適用する場合は、[ターゲットに割り当てられた保持カテゴリを使用する]チェックボックスをクリアします。
このタブのオプションは、[全般]タブのルールの種類として[アーカイブ]を選択したときにのみ利用可能です。

- 11 [OK]をクリックしてルールを追加します。このポリシーで処理するファイルを選択するときに、1 つ以上のルールを適用できます。[新規]をクリックしてさらにルールを追加するか、または[編集]をクリックしてハイライトされたルールを変更します。

処理中、ルールは一覧の一番上から順番に適用されます。一致した最初のルールが適用されます。そのため、必要なデフォルトの処理は最後になるようにする必要があります。ルールを並べ替えるには、[上に移動]と[下に移動]を使います。

ルールを無効にするには、そのルールのチェックマークをはずします。

- 12 アーカイブ済みのライブラリアイテムの処理方法を次のページで設定できます。SharePoint にアイテムを保持するか、SharePoint からアイテムを削除するか、アイテムをショートカットに置き換えることができます。
- 13 アーカイブ済みのリストアイテムの処理方法を次のページで設定できます。SharePoint にアイテムを保持するか、SharePoint からアイテムを削除するか、アイテムの添付ファイルをショートカットに置き換えることができます。
- 14 次のページで、[SharePoint 文書を削除]を選択して、[文書の次までのバージョンを削除]に、アーカイブした後に SharePoint に残すアーカイブ済み文書のバージョン数を設定します。以前のバージョンは、アーカイブ以外では利用できなくなります。
- 15 次のページで、Enterprise Vault がフォルダのほかの内容と異なる権限で内容をアーカイブするかどうかを設定することができます。Enterprise Vault が SharePoint からアイテムをアーカイブする場合、アーカイブに格納されるコピーには元の内容が含まれていたフォルダと同じ権限が与えられます。これは、SharePoint のフォルダに対する読み取りアクセス権を持つユーザーは、フォルダの任意の内容のアーカイブされたコピーにアクセスできることを意味します。
- 16 次のページでは、文書の下書きをアーカイブするように Enterprise Vault を設定できます。下書きをアーカイブする際に、SharePoint 文書へのアクセス権を持つユーザーが、その文書の下書きへのアクセス権を持つ場合のみ文書の下書きがアーカイブされるように指定することができます。

下書きをアーカイブするオプションを選択し、[アイテムの読み取りアクセス権を持つユーザーがそれらのアイテムを表示できる場合にのみ下書きをアーカイブします]を選択しない場合、対象サイトからアーカイブされたアイテムのすべての下書きがアーカイブされます。これは、SharePoint の下書きにアクセス権を持たない場合でも、SharePoint の元のアイテムへの読み取りアクセス権を持つユーザーなら誰でも、Enterprise Vault のアイテムのアーカイブされた下書きを表示できることを意味します。
- 17 次のページに、作成した各種 SharePoint ポリシー設定が表示されます。
- 18 [完了]をクリックし、[閉じる]をクリックします。

SharePoint アーカイブポリシーの表示または修正

SharePoint アーカイブポリシーの表示または修正を行うには

- 1 管理コンソールの右ペインでポリシーを検索します。
- 2 ポリシーを右クリックし、次のいずれかを行います。
 - 既存のポリシーのプロパティを表示または編集するには、[プロパティ]を選択します。
 - 既存のポリシーをコピーして別の名前を付けるには、[ポリシーのコピー]を選択します。

SharePoint アーカイブのボルトストアについて

SharePoint アーカイブで使うボルトストアは、新規作成するか、既存のボルトストアを割り当てることができます。

新しいボルトストアを使う場合は、アーカイブ対象 **SharePoint** を作成する前にボルトストアとパーティションを作成します。

アーカイブタスクが実行されると、オープンしているボルトストアパーティションにアーカイブが自動的に作成されます。各 **SharePoint** サイトコレクションに対して、アーカイブが作成されます。管理コンソールツリーでは、アーカイブは、[アーカイブ]の下で [SharePoint] に表示されます。最上位サイトと、そのサイトコレクションのすべてのサブサイトの内容が、同じアーカイブに格納されることに注意してください。

Enterprise Vault アーカイブとアーカイブフォルダへのアクセス権限は、対応する **SharePoint** サイトとドキュメントライブラリへのアクセス権限と自動的に同期されます。

ボルトストア、パーティション、アーカイブのプロパティを表示してカスタマイズするには、管理コンソールでオブジェクトを右クリックし、[プロパティ]を選択します。各オブジェクトのプロパティについては、管理コンソールのヘルプを参照してください。

ボルトストアを作成する方法については、『インストール/設定』の「ボルトストアの作成」を参照してください。

SharePoint アーカイブ対象の追加

Enterprise Vault は、管理コンソールツリー ([対象] > [SharePoint]) の **SharePoint** アーカイブ対象オブジェクトを、次のように **SharePoint** サイトアーキテクチャの一部に関連付けます。

- **Web** アプリケーションオブジェクトは、アーカイブされる **SharePoint Web** アプリケーションの URL を含んでいます。
- サイトコレクションオブジェクトは、**SharePoint** サーバーの最上位にある既存のサイトに関連付けられています。

- サイトオブジェクトは、SharePoint サーバー上の既存のサブサイトに関連付けされています。

Enterprise Vault でアーカイブ対象オブジェクトを設定するには、SharePoint Web アプリケーションとサイトコレクションが SharePoint に存在し、かつ SharePoint サーバーへの Enterprise Vault コンポーネントのインストールと設定が完了している必要があります。

安全な (HTTPS) サイトを追加する場合、SSL 証明書が有効であることを確認する必要があります。証明書が無効の場合、新規 SharePoint 対象ウィザードでエラー [SharePoint 対象が見つかりません。]が表示されます。

アーカイブ対象として SharePoint 2013 以降の Web アプリケーションを追加するには、Web アプリケーションで次のように認証を設定していることを確認する必要があります。

- 統合 Windows 認証が有効になります。
- 対象の Web アプリケーション内のすべてのゾーンでの信頼できる識別情報およびフォームベース認証が無効になります。

アーカイブ対象として SharePoint 2010 の Web アプリケーションを追加するには、Web アプリケーションでクラシックモード認証が有効になっていることを確認する必要があります。

メモ: 認証設定は、Web アプリケーションを追加するためだけでなく、そのコンテンツをアーカイブするためにも必要です。対象を追加した後でこれらの設定を変更すると、アーカイブが停止します。

p.13 の「[SharePoint サーバーへの Enterprise Vault のアクセスの設定](#)」を参照してください。

SharePoint アーカイブ対象を追加するには

- 1 Enterprise Vault 管理コンソールの左ペインで、[対象]ノードを見つけます。
- 2 [対象]の下に[SharePoint]コンテナを右クリックし、[新規作成]、[SharePoint 対象]の順に選択します。
- 3 これにより、新規 SharePoint 対象ウィザードが起動します。最初の画面で[次へ]をクリックします。
- 4 Web アプリケーションの URL を入力します。
URL には IP アドレスではなくホスト名を使う必要があります。
[次へ]をクリックします。

- 5 Enterprise Vault で、このターゲット上のすべてのサイトが自動的にアーカイブされるようにする場合は、[サイトコレクションを自動有効化]を選択します。ウィザードに従って、この SharePoint 対象のすべてのサイトに使うタスク、ポリシー、ボルトストア、保持カテゴリまたは保持計画を選択します。

以前に追加され、削除された SharePoint 対象を追加するには、そのターゲットに以前使われたボルトストアを選択する必要があります。

自動アーカイブが有効になっている場合、Enterprise Vault はアーカイブタスクが最初に行われたときに SharePoint 対象オブジェクトの下にサイトコレクションオブジェクトを自動的に追加し、各サイトコレクションの新しいアーカイブが自動的に作成されます。また、サブサイトも対象サイトコレクションオブジェクトの設定を使ってアーカイブされますが、対象サブサイトオブジェクトは管理コンソールに表示されません。サブサイトのコンテンツは最上位サイトコレクションのアーカイブに格納されます。

Enterprise Vault で最上位サイトの一部をアーカイブしない場合や、別のポリシー、保持カテゴリ、保持計画、タスクを割り当てる場合は、[サイトコレクションを自動有効化]を選択します。この作業を行うと、最後の概略画面が表示されます。アーカイブするサイトコレクションがある場合は、対象サイトコレクションオブジェクトを手動で作成する必要があります。

p.24 の「[SharePoint サイトコレクションのアーカイブ対象の作成](#)」を参照してください。

- 6 SharePoint 対象オブジェクトが作成される前に、ウィザードはオブジェクトの詳細情報の概略を表示します。情報が正しい場合は、[完了]をクリックし、[閉じる]をクリックしてウィザードを終了します。

SharePoint 対象のデフォルトアーカイブ設定の変更

後で自動アーカイブの有効と無効を切り替えたり、デフォルトのアーカイブ設定を変更したりする場合は SharePoint 対象のプロパティを使います。

SharePoint 対象のデフォルトアーカイブ設定を変更するには

- ◆ 管理コンソールツリーで SharePoint 対象オブジェクトを右クリックして[プロパティ]を選択します。

対象上のサイトのアーカイブの停止

SharePoint 対象上のすべてのサイトコレクションのアーカイブを停止できます。

対象のサイトのアーカイブを停止するには

- ◆ SharePoint 対象プロパティの[この SharePoint 対象をアーカイブする]のチェックマークをはずします。

SharePoint サイトコレクションのアーカイブ対象の作成

SharePoint 対象オブジェクトの[サイトコレクションを自動有効化]が選択されている場合、アーカイブタスクを実行したときに、各最上位サイトに対する対象サイトコレクションオブジェクトが自動的に作成されます。

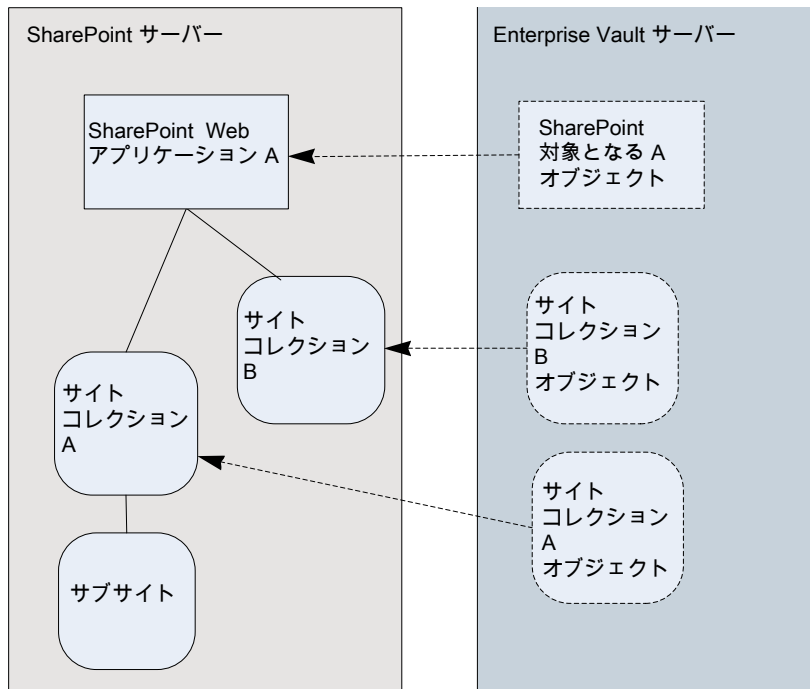
アーカイブタスクにより使われるアカウントには、対象の SharePoint サイトコレクションそれぞれにおけるサイトコレクション管理者権限が必要です。

対象の SharePoint サイトコレクションそれぞれにサイトコレクション管理者権限を与える代わりに、対象の SharePoint Web アプリケーションにタスクアカウントのフルコントロール権限を与えることができます。この方法は、自動有効化オプションを使う場合に役立ちます。

SharePoint Central Administration の[Web アプリケーションのポリシー]ページで、フルコントロール権限を設定することができます。

図 2-2 に、SharePoint 対象上の Web アプリケーションとサイト (左側) と、Enterprise Vault 管理コンソールの関連するアーカイブ対象オブジェクト (右側) の関係を示します。

図 2-2 アーカイブ対象



一部のサイトコレクションのみをアーカイブする場合は、SharePoint 対象オブジェクトの [サイトコレクションを自動有効化] のチェックマークをはずし、必要な対象サイトコレクションオブジェクトを手動で作成します。

SharePoint アーカイブ対象のサイトコレクションを手動で作成する方法

- 1 管理コンソールの左ペインで、必要な SharePoint 対象オブジェクトを検索します。
- 2 オブジェクトを右クリックし、[新規作成]、[SharePoint サイトコレクション] の順に選択します。

これにより、新規 SharePoint サイトコレクションウィザードが起動します。

- 3 ウィザードの最初のページで、[次へ] をクリックします。
- 4 サイトコレクション内の最上位サイトの URL を入力します。次に例を示します。

`http://sharepoint/sites/marketing`

SharePoint 内のデフォルトのサイトコレクションの URL が Web アプリケーションの URL と同じである場合があります。

- 5 このサイトコレクションについての必要なアーカイブ範囲 (最上位の Web サイトのみ、サブサイトのみ、または両方) を選択します。[次へ] をクリックします。
- 6 SharePoint アーカイブに使うボルトストアをハイライトします。各最上位サイトに対して、ボルトストア内に別々のアーカイブが自動的に作成されます。

以前に追加され、削除された SharePoint サイトコレクションを追加するには、そのサイトコレクションに以前使っていた同じボルトストアを選択する必要があります。

[次へ] をクリックします。

- 7 サイトコレクションのアーカイブに使うポリシーとアーカイブタスクを選択します。[次へ] をクリックします。
- 8 アーカイブしたファイルに適用する保持カテゴリまたは保持計画を選択します。必要に応じて、[新規作成] を使って、新しい保持カテゴリまたは保持計画を作成できます。[次へ] をクリックします。
- 9 次の画面には、サイトコレクションのアーカイブに関する詳細情報の概略が表示されます。情報が正しい場合は、[完了] をクリックします。
- 10 オブジェクトが作成されたことを確認するメッセージが表示されます。[閉じる] をクリックします。

アーカイブ設定を上書きするアーカイブ対象サブサイトの作成

SharePoint サイトコレクション内のサブサイトに対しては、そのサブサイトがアーカイブされた場合でも、対象サイトオブジェクトは自動的に追加されません。対象サイトオブジェクトがない場合、サブサイトは、サイトコレクション内の最上位サイトのアーカイブ設定を使ってアーカイブされます。

アーカイブの対象の例については「[SharePoint サイトコレクションのアーカイブ対象の作成](#)」を参照してください。この例では、Enterprise Vault 内に、SharePoint Server 上のサイトコレクション A の下のサブサイトに対応する対象オブジェクトは存在しません。

対象サイトオブジェクトを手動で作成する必要があるのは、(親サイトがアーカイブされていないときに) サブサイトを含めるため、またはアーカイブからサイト (または、そのサブサイト) を除外するためにデフォルトのアーカイブ設定を上書きする場合だけです。

サイトコレクション内のすべてのサイトからアーカイブされたコンテンツが、同じアーカイブに格納されます。

アーカイブタスクは、Web アプリケーションまたは最上位サイトに割り当てることができますが、サブサイトには割り当てることができません。

アーカイブ設定を上書きするアーカイブ対象サブサイトを作成する方法

- 1 [対象] の下の [SharePoint] で、SharePoint 対象オブジェクトを展開し、アーカイブするサブサイトの対象サイトコレクションオブジェクトを見つけます。
- 2 サイトコレクションオブジェクトを右クリックし、[新規作成]、[SharePoint サイト] の順に選択します。これにより、新規 SharePoint サイトウィザードが起動します。最初の画面で [次へ] をクリックします。
- 3 フィールドの下に、最上位サイトのフルパスが表示されます。フィールドに、サブサイトの相対パスを入力します。たとえば、最上位サイトが次のようになっているとします。

`http://sharepoint/sites/marketing`

また、サブサイトのフルパスが次のようになっているとします。

`http://sharepoint/sites/marketing/presentations`

この場合は、次のように入力します。

`presentations`

- 4 このサイトに対するアーカイブに必要な範囲を選択します。選択できるのは、このサイトのみ、サブサイトのみ、またはその両方です。[次へ] をクリックします。
- 5 サイトとサブサイトのアーカイブに使うポリシーを選択します。[次へ] をクリックします。
- 6 アーカイブしたコンテンツに適用する保持カテゴリまたは保持計画を選択します。必要に応じて、[新規作成] を使って、新しい保持カテゴリまたは保持計画を作成できます。[次へ] をクリックします。
- 7 次の画面には、サイトに対するアーカイブ設定の概略が表示されます。情報が正しい場合は、[完了] をクリックします。
- 8 オブジェクトが作成されたことを確認するメッセージが表示されます。[閉じる] をクリックします。
- 9 サブサイトの対象サイトオブジェクトは、ツリーのサイトコレクションオブジェクトをクリックすると、管理コンソールの右側のペインに表示されます。ツリーには表示されません。

SharePoint のアーカイブの実行

この章では以下の項目について説明しています。

- [SharePoint アーカイブ実行の開始](#)
- [SharePoint アーカイブの実行のスケジュール](#)

SharePoint アーカイブ実行の開始

アーカイブタスクによってサポートされているすべてのサイトのアーカイブ実行をただちに開始することや、特定のサイトコレクションのみをアーカイブすることが可能です。

SharePoint タスクによってサポートされているすべての対象サイトをただちにアーカイブする方法

- 1 Enterprise Vault 管理コンソールツリーで、SharePoint タスクをホストする Enterprise Vault コンピュータにナビゲートします。コンピュータ名をクリックして、[サービス]と[タスク]を表示します。
- 2 [タスク]をクリックして、右側のペインに SharePoint タスクを表示します。
- 3 SharePoint タスクを右クリックし、[今すぐ実行]を選択します。

4 タスクの実行方法を選択します。

レポートモードでは、Enterprise Vault はコンテンツをアーカイブしませんが、アーカイブできるコンテンツを特定するレポートを生成します。標準モードでは、Enterprise Vault はコンテンツをアーカイブします。また、タスクのレポートプロパティによっては、レポートも生成します。

Enterprise Vault プログラムフォルダの Reports\SharePoint Archiving サブフォルダ (たとえば、C:\Program Files (x86)\Enterprise Vault\Reports\SharePoint Archiving) にレポートを表示できます。

5 [OK]をクリックして、アーカイブ実行を開始します。

特定の対象サイトコレクションのみをアーカイブする方法

- 1 Enterprise Vault 管理コンソールツリーで、[対象]コンテナを展開し、その下の [SharePoint]コンテナを展開します。
- 2 SharePoint 対象オブジェクトを展開して、サイトコレクションオブジェクトを表示します。
- 3 サイトコレクション内のすべてのサイトをアーカイブするには、サイトコレクションオブジェクトを右クリックし、[今すぐ実行]を選択します。
- 4 タスクのレポートモードまたは標準モードを選択し、[OK]をクリックしてアーカイブ実行を開始します。

p.39 の「[同じサーバーへの Enterprise Vault と SharePoint のインストール](#)」を参照してください。

SharePoint アーカイブの実行のスケジュール

タスクに関連するすべての対象サイトを定期的にアーカイブするには、Enterprise Vault サイトスケジュールを使うか、SharePoint タスク用に別のスケジュールを設定します。

Enterprise Vault サイトスケジュールを使う方法

- 1 サイトスケジュールが適切であることを確認します。管理コンソールの左ペインで、Enterprise Vault サイトコンテナを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
[サイトスケジュール]タブをクリックして、すべてのアーカイブタスクに対して設定されているデフォルトのスケジュールを表示します。
- 2 管理コンソールツリーで、Enterprise Vault サイトの下の [Enterprise Vault サーバー]コンテナを展開し、次に SharePoint Server をアーカイブするように設定されている Enterprise Vault サーバーを展開します。
- 3 ツリーの[タスク]をクリックします。
- 4 右ペインで、必要な SharePoint タスクを右クリックします。([種類]列に[SharePoint]が表示されたら)[プロパティ]をクリックします。

- 5 [スケジュール]タブをクリックします。
- 6 [サイトの設定を使用]を選択します。
- 7 [OK]をクリックします。

SharePoint タスクに対して別のスケジュールを作成する方法

- 1 管理コンソールツリーで、Enterprise Vault サイトの下の [Enterprise Vault サーバー] コンテナを展開し、次に **SharePoint Server** をアーカイブするように設定されている **Enterprise Vault** サーバーを展開します。
- 2 ツリーの [タスク] をクリックします。
- 3 右側のペインで、必要な **SharePoint** タスクを右クリックします。([種類] 列に [SharePoint] が表示されたら) [プロパティ] を選択します。
- 4 [スケジュール] タブを選択します。
- 5 [サイトの設定を使用] のチェックマークをはずします。
- 6 このタスクに必要なスケジュールを設定します。
- 7 [OK] をクリックします。

SharePoint アーカイブ Web パーツの追加

この章では以下の項目について説明しています。

- [SharePoint アーカイブ Web パーツについて](#)
- [SharePoint ページにアーカイブの検索 Web パーツを追加する](#)

SharePoint アーカイブ Web パーツについて

Enterprise Vault Web パーツによって、SharePoint ユーザー用のアーカイブ検索機能が提供されます。

ユーザーはアーカイブの検索 Web パーツを使用して次の処理を実行できます。

- Enterprise Vault アーカイブ内の SharePoint コンテンツの検索。検索結果ページから、ユーザーは文書およびリストアイテムを表示できます。
- アクセス権がある SharePoint アーカイブを検索、参照します。
- ライブラリのアーカイブされたコンテンツとコンテンツバージョンを SharePoint サーバーにコピーします。

Enterprise Vault Archive Search のカスタム Web パーツは Enterprise Vault SharePoint コンポーネントのインストール中に Web パーツギャラリーに追加されます。インストールすると、Web パーツギャラリー内の Web パーツの名前は、インストールしたベースの SharePoint サーバーの言語で表示されます。ただし、SharePoint ページでは Web パーツのテキストは SharePoint サイトの言語でユーザーに表示されます。

SharePoint ページにアーカイブの検索 Web パーツを追加する

SharePoint ページを修正して Web パーツを追加するには、サイト所有者または管理者である必要があります。

アーカイブの検索 Web パーツを SharePoint ページに追加するには

- 1 Internet Explorer で、アーカイブの検索 Web パーツを追加するページを開きます。
- 2 [サイトの操作]メニューで、[ページの編集]をクリックします。
- 3 Web パーツを追加する Web パーツゾーンで、[Web パーツの追加] をクリックします。
- 4 [Web パーツの追加]ダイアログボックスで、[その他]セクションにある[アーカイブの検索 Web パーツ]を選択します。
- 5 [追加]をクリックします。

これで、ページに[アーカイブの検索]Web パーツが表示されます。インストールした Web パーツパッケージの言語に関係なく、Web パーツのテキストはサイトの言語で表示されます。

アーカイブされた SharePoint 文書へのユー ザーアクセス

この章では以下の項目について説明しています。

- アーカイブされた **SharePoint** コンテンツへのユーザーアクセスについて
- **SharePoint** ユーザーのブラウザセキュリティ設定の修正

アーカイブされた **SharePoint** コンテンツへのユーザー アクセスについて

メモ: アーカイブ済みアイテムを表示または編集するには、**SharePoint** サイトを開くときに管理者モードで **Web** ブラウザを使う必要があります。

アーカイブされたソーシャルコンテンツを復元することはできません。

Enterprise Vault SharePoint アーカイブに格納されたアイテムにアクセスするには、次の方法があります。

- バージョン履歴ページの[このアイテムのアーカイブバージョンを表示]リンクを使います。このページから、ユーザーは、アーカイブ内にあるアイテムのバージョンにアクセスできます。また、**SharePoint Server** 上にあるアイテムの現在のバージョンをアーカイブ内のバージョンに置き換えることもできます。

ブログとディスカッションでは[このアイテムのアーカイブバージョンを表示]リンクを利用できません。

p.33 の「**SharePoint** バージョン履歴ページのアーカイブ済みバージョンへのアクセス」を参照してください。

- アーカイブの検索 Web パーツを使います。アーカイブの検索 Web パーツを使うと、ユーザーは、アーカイブ内にアーカイブされているアイテムを検索できます。検索結果ページから、アイテムを表示し、アーカイブされた文書または文書バージョンを **SharePoint Server** に復元できます。
- p.33 の「[アーカイブの検索 Web パーツを使ったアーカイブ済みアイテムの検索](#)」を参照してください。

ユーザーは、アクセス権限のあるコンテンツのみを表示できます。

アーカイブ検索を使うには、各ユーザーのデスクトップコンピュータに Internet Explorer 9.0 以降をインストールして **Java** スクリプトを有効にする必要があります。

SharePoint バージョン履歴ページのアーカイブ済みバージョンへのアクセス

SharePoint でドキュメントライブラリに対してバージョン管理が有効になっている場合は、**SharePoint Server** 上の文書のバージョンがバージョン履歴ページに表示されます。アーカイブタスクが最初に実行されると、**SharePoint** バージョンの下に[このアイテムのアーカイブバージョンを表示]という新しいリンクが表示されます。

ディスカッションとブログを除く、すべての種類のアイテムのバージョンを表示できます。

SharePoint バージョン履歴ページのアーカイブバージョンにアクセスするには

- 1 [このアイテムのアーカイブバージョンを表示]をクリックします。
 - 2 アイテム名のドロップダウンメニューを使って次を選択します。
 - [表示]を選択すると、アーカイブされたアイテムを開いたり、コンピュータに保存したりできます。
 - [復元]を選択すると、アイテムを最新バージョンとして **SharePoint** に復元できます。
- [復元]オプションはドキュメントのみで利用可能です。リストアイテムには利用できません。

アーカイブの検索 Web パーツを使ったアーカイブ済みアイテムの検索

アーカイブの検索 Web パーツを使って、Enterprise Vault SharePoint アーカイブに格納されているアイテムを検索します。

アーカイブの検索の Web パーツを使ってアーカイブ済みアイテムを検索するには

- 1 最初のフィールドで、検索の範囲を[このサイト]または[サイトコレクション]から選択します。
- 2 2 番目のフィールドで、名前、件名、アイテムの内容の検索単語を入力し、[実行]をクリックします。

たとえば、次のように入力すると、名前、件名、内容に「press」、「updated」、「v5」のいずれかの単語を含むアイテムが返されます。

press updated v5

ワイルドカード文字 * を使うと、単語の最後にある 1 つ以上の文字を示すことができます。ワイルドカード文字の前に、最低 3 文字は必要です。たとえば、**new*** を指定すると、**December newsletter** という名前のアーカイブされたアイテムや、アイテムの内容に **newer** という単語を含むアイテムが検索されます。

内容に含まれているフレーズを検索するには、アーカイブでインデックスが[完全]に設定されている必要があります。インデックスのレベルを調べるには、**Enterprise Vault 管理コンソール**でサイトコレクションアーカイブを右クリックし、[プロパティ]を選択します。次に、プロパティウィンドウで[詳細]タブをクリックします。

検索結果は、[アーカイブの検索結果]ページに表示されます。

- 3 [アーカイブの検索結果]ページの左側にあるリンクを使って、[作成者]、[日付]などの項目で結果のグループ化やソートを行います。結果をソートするときは、矢印によってソート順が示されます。順序を逆にするには、リンクを再度クリックします。
- 4 [処理]セクションのリンクをクリックして、次の処理を行います。
 - [省略表示]または[詳細表示]をクリックして、各アイテムのプレビュー情報を非表示にするか、表示します。
 - [グループを省略]または[グループを展開]をクリックして、グループタイトルだけを表示するか、グループ内のアイテムを表示します。
 - [詳細検索]または[簡易検索]をクリックして、複雑な検索フィルタを作成するか、単純な検索を実行します。

このリンクは、これらの処理間で切り替えられます。たとえば、[省略表示]を選択すると、リンクは[詳細表示]に変更されます。

SharePoint アーカイブの検索 Web パーツの詳細検索

SharePoint アーカイブの検索 Web パーツの詳細検索を使うと、次の基準の組み合わせで検索できます。

- 作成者
- 内容
- アイテムの種類

- 修正者
- 名前
- タイトル

[次を含む]は、アイテムの照合において、選択したプロパティが次のフィールドに入力された単語またはフレーズを含んでいる必要があることを意味します。

[と等しい]は、アイテムの照合において、選択したプロパティが次のフィールドに入力された単語またはフレーズそのものである必要があることを意味します。

たとえば、アイテムの作成者が **John Peter Doe** の場合は、次のようになります。

- [作成者][次を含む][**John Peter**]で検索すると、結果は一致になります。
- [作成者][次を含む][**John Doe**]または[**Doe John**]で検索すると、結果は不一致になります。
- [作成者][次と等しい][**John Peter Doe**]で検索すると、結果は一致になります。
- [作成者][次と等しい][**John Peter**]で検索すると、結果は不一致になります。

2 つのプロパティを指定する場合は、[と]または[または]演算子オプションを使って、各プロパティの適用方法を制御できます。3 つのプロパティが指定された場合、2 番目と 3 番目のプロパティでは、常に[と]演算子が使われます。

各プロパティの値を入力し、[更新日時]または[作成日時]の日付範囲を選択すると、プロパティの基準と日付の基準の両方を満たすアイテムが検索されます。

検索 **Web** パーツでは[次を含む]または[次と等しい]を使用したカスタム日時または数値フィールドでの検索を指定できません。指定するには **Enterprise Vault** による検索を使う必要があります。

検索 **Web** パーツでの作成日による検索では、検索結果に修正済みのソーシャルコンテンツが含まれる可能性があります。

アーカイブされたコミュニティサイトのメンバーの評価、評価およびバッジに関連する情報を検索するときは、コンテンツの検索を実行する必要があります。

アーカイブの検索 **Web** パーツ検索フォームのカスタマイズ

[範囲の管理]リンクと[プロパティの管理]リンクを使って、範囲一覧に **SharePoint** サイトを追加し、プロパティ一覧にカスタムプロパティを追加することで、検索フォームをカスタマイズできます。

- [範囲の管理]では、[検索範囲]ドロップダウンボックスにサイトを追加できます。たとえば、削除したサイトからアーカイブされたコンテンツが存在する可能性がある場合は、このサイトを含めると便利です。

- [プロパティの管理]では、[プロパティによる検索]ドロップダウンボックスにカスタムプロパティを追加できます。カスタムプロパティはアイテムライブラリに定義できます。
Enterprise Vault はアーカイブ時にこれらの追加のプロパティを格納します。

検索範囲一覧にサイトを追加する方法

- 1 アーカイブの検索 **Web** パーツで、[範囲の管理]をクリックします。
- 2 [サイトを追加]をクリックします。
- 3 必要なサイトの[サイト名]とサイトの **URL** を入力します。
- 4 [OK]をクリックします。カスタムサイトのページにサイトが表示されます。
- 5 [戻る]をクリックして、メイン検索ページに戻ります。
- 6 [検索範囲]ドロップダウンボックスの横の矢印をクリックすると、新しいサイトが一覧に表示されます。

[プロパティによる検索]一覧にカスタムプロパティを追加する方法

- 1 アーカイブの検索 **Web** パーツで、[プロパティの管理]をクリックします。
 - 2 [プロパティを追加]をクリックします。
 - 3 必要なカスタムプロパティの[プロパティ名]を入力します。
 - 4 [OK]をクリックします。カスタムプロパティのページにサイトが表示されます。
 - 5 [戻る]をクリックして、メイン検索ページに戻ります。
- [プロパティによる検索]の下にあるプロパティボックスの横の矢印をクリックすると、新しいサイトが一覧に表示されます。

メモ: 複数行フィールドをプロパティとして追加しないでください。複数行フィールドのアイテムを検索する場合は、複数行フィールドのテキストを使用してコンテンツを検索することができます。複数行フィールドをプロパティとして追加すると、検索結果に探しているアイテムが含まれない可能性があります。

アーカイブの検索 **Web** パーツを使った文書の復元

[アーカイブの検索結果]ページでは、表示されている各文書の下に[復元]リンクが表示されます。

検索結果の文書のコピーを **SharePoint Server** に復元する方法

- ◆ 目的の文書の下に[復元]リンクをクリックします。
- [復元済みの文書]ページが表示され、復元されたコピーの名前と場所が示されます。

メモ: リストアイテムは復元できません。

文書が既存のショートカットを置換するときの動作は、ショートカットが作成された SharePoint のバージョンによって次のように異なります。

- ショートカットが **SharePoint Server 2007 (MOSS 2007)** で作成された場合、復元されたコピーはショートカットを上書きします。
- ショートカットが **Enterprise Vault 8.0 SP3** 以降で作成された場合、復元されたコピーはショートカットを上書きします。
- ショートカットが **Enterprise Vault 8.0 SP2** 以前で作成された場合、復元されたコピーは、そのショートカットの名前に接尾辞 **(n)** が付いた新しい文書です。たとえば、`my document (1) .doc`。
[アーカイブの検索結果] ページから元の文書を再度復元すると、別の新しい文書が `my document (2) .doc` という名前で作成されます。

新しい文書のバージョン履歴ページで[このアイテムのアーカイブバージョンを表示]をクリックすると、復元された文書のアーカイブバージョン(この例では、`my document(1).doc`)と、元の文書のアーカイブバージョン(この例では、`my document.doc`)が表示されます。

SharePoint ユーザーのブラウザセキュリティ設定の修正

ユーザーが **SharePoint** サーバーまたは **Enterprise Vault SharePoint** アーカイブにアクセスするたびに資格情報を入力しなくても済むように、**Enterprise Vault** サーバーと **SharePoint** サーバーをユーザーの **Web** ブラウザのローカルイントラネットサイトゾーンに追加できます。分かりやすい例として、次の手順で **Internet Explorer** で追加する方法を説明します。

Active Directory を使っている場合は、グループポリシーによりゾーンの変更をすべてのドメインユーザーに適用できます。

Internet Explorer で **SharePoint** ユーザーのセキュリティ設定を修正するには

- 1 各クライアントコンピュータで、**Internet Explorer** を開きます。
- 2 [ツール]の[インターネットオプション]をクリックし、[セキュリティ]タブをクリックします。
- 3 [イントラネット]をクリックし、次に[サイト]をクリックします。
- 4 **SharePoint Server** の URL を入力し、[追加]をクリックします。次に例を示します。
`http://my_sharepoint_server`
- 5 **Enterprise Vault Web Access** アプリケーションサーバーの URL を入力して、[追加]をクリックします。次に例を示します。
`http://myEnterpriseVaultServer`
- 6 [OK]をクリックして、[イントラネット]ウィンドウを閉じます。

- 7 ポップアップブロックを使っている場合は、Web Access アプリケーションの URL をブロックしないように設定します。
- 8 Internet Explorer を閉じます。

単一サーバーへの Enterprise Vault と SharePoint のインストール

この付録では以下の項目について説明しています。

- [同じサーバーへの Enterprise Vault と SharePoint のインストール](#)

同じサーバーへの Enterprise Vault と SharePoint の インストール

デモシステムの場合、同じコンピュータに Enterprise Vault と SharePoint をインストールできます。この設定はプロダクションシステムでは推奨されません。

このセクションでは、Enterprise Vault が SharePoint フロントエンド Web サーバーと同じサーバーを共有する場合に Enterprise Vault Web アプリケーションを正しく動作させる方法について説明します。

SharePoint と Enterprise Vault を同じコンピュータにインストールすると、Enterprise Vault Web アプリケーションがデフォルトの Web サイトにインストールされます。デフォルトで、SharePoint はデフォルトの Web サイトを停止します。

デフォルトの Web サイトのポート番号を変更し、Enterprise Vault Web Access アプリケーションのポート番号を一致するように変更する必要があります。

メモ: SharePoint からデータをアーカイブする前にこれらの変更を行う必要があります。

デフォルトの Web サイトのポート番号を変更する方法

- 1 IIS (Internet Information Services) マネージャを起動します。
- 2 ローカルコンピュータノードを展開します。
- 3 Web サイトノードを展開します。
- 4 [既定の Web サイト]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 5 [Web サイト]タブで、[TCP ポート]を、使われていないポート番号になるように変更します。
- 6 デフォルトの Web サイトを起動します。

Enterprise Vault Web Access アプリケーションのポート番号を変更する方法

- 1 Enterprise Vault 管理コンソールを起動します。
- 2 Vault サイト名を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。
- 3 [全般]タブの[Web Access アプリケーション]で、[TCP ポートを使用]を、デフォルトの Web サイトのポート番号に一致するように変更します。
- 4 Enterprise Vault サービスを再起動します。